

平成 30 年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

社 会 的 養 護

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、児童心理治療施設に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 平成29年の「児童福祉法」改正で、情緒障害児短期治療施設から名称変更がなされ、施設の目的も見直しが行われた。
- B 施設の実施主体は、都道府県、指定都市、児童相談所設置市である。
- C 平成28年10月現在、全国に46か所の施設があり、定員の充足率は80%を超えている。
- D 保育士の配置基準は、児童養護施設の小学生以上の配置と同じである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	×

問2 次の文は、里親制度に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 里親制度は「児童福祉法」第27条第1項第3号の規定に基づき、児童相談所が要保護児童の養育を委託する制度である。
- 2 平成14年度の「児童福祉法」の改正において親族里親、専門里親を創設した。
- 3 平成20年の「児童福祉法」改正において養育里親、養子縁組を希望する里親との制度上の区分を行った。
- 4 平成21年度から養育里親、専門里親、親族里親については研修を義務化した。
- 5 平成29年度から一貫した里親支援は、都道府県（児童相談所）の業務として位置づけられた。

問3 次の文は、障害児入所施設に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 入所児童等の意向、児童の適性、障害の特性やその他の事情を踏まえた自立支援計画を作成することが義務付けられている。
- B 利用の基準は、手帳を取得していることである。
- C 18歳以上の入所者は、引き続き、入所支援を受けなければその福祉を損なうおそれがあると認めるときは、満25歳に達するまで利用することが可能と規定されている。
- D 対象になるのは、身体に障害のある児童、知的障害のある児童又は精神に障害のある児童（発達障害児を含む）である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問4 次のうち、主として重症心身障害児が入所する医療型障害児入所施設の職員配置として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 心理療法担当職員
- B 児童発達支援管理責任者
- C 心理指導を担当する職員
- D 個別対応職員
- E 家庭支援専門相談員

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A E
- 3 B C
- 4 C D
- 5 C E

問5 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

Yさん（17歳、高校2年生、女子）は、小学3年生の時、保護者の養育困難を理由に児童養護施設に入所した。両親は離婚しており、経済的に困難なため家庭引き取りの予定はなく、施設で高校卒業まで生活することを本人も両親も希望している。高校卒業後の進路についてYさんは、「大学に進学し、ひとり暮らしをしたい」と言っている。

【設問】

児童養護施設の支援として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 進路を選択するために必要な資料等を収集し、子どもに判断材料を提供し、十分話し合う。
- 2 大学に進学し生活するための経済的基盤を確保することが困難なので、就職するように促す。
- 3 高校卒業後も本人の希望や状況に合わせて、施設から大学に通うことができるよう措置延長を検討する。
- 4 退所した後も、できる限り支援を行う「アフターケア」について伝える。
- 5 退所後の自立を見据えて、一定の生活費の範囲で生活することを学ぶプログラムなどを行う。

問6 次の文は、保育所等訪問支援に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「児童福祉法」に基づいた第二種社会福祉事業として位置づけられている。
- 2 支援が実践されるのは、保育所、幼稚園、認定こども園、教育機関などの通所して集団生活を送る施設である。
- 3 対象になるのは、保育所等に通所している集団生活に専門的な支援が必要な子どもである。
- 4 利用の申請は、子どもが通所している保育所等施設の施設長が行う。
- 5 訪問支援を実践するのは、児童指導員、保育士、作業療法士などリハビリテーションを行う職員、心理担当職員などである。

問7 次の文は、社会的養護における子どもの「権利擁護」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 社会的養護の施設等では、子どもの気持ちを受け入れるとともに、その子どもの置かれている状況や今後の支援について説明する。
- B 子どもの意見をくみ上げる仕組みとして、施設に設置された意見箱や、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員等を活用する。
- C 現在入所している子どもや退所した子どもの声を聞き、施設などの運営改善や施策の推進に反映させていく取組が重要である。
- D 被措置児童等虐待の通報制度や、「被措置児童等虐待対応ガイドライン」に基づき、児童養護施設等の職員や里親による虐待の防止を徹底する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	×	×	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	×
5	×	○	×	×

問8 次の文は、知的障害児の福祉実現に力を注いだ糸賀一雄に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「この子らに世の光を」ではなく「この子らを世の光に」という言葉を残した。
- 2 滋賀県庁職員時代から既に障害児に対するさまざまな活動をしていた。
- 3 わが国でホスピタリズム論争が起こった時に、『集団に育つ子ら』を著し、集団主義養護理論を主張した。
- 4 池田太郎、田村一二とともに、知的障害児や戦災孤児などを保護する近江学園を設立した。
- 5 重症心身障害児のための施設として、びわこ学園を設立した。

問9 次の文は、「社会的養護の課題と将来像」（児童養護施設等の社会的養護の課題に関する検討委員会・社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会とりまとめ 平成23年7月）による社会的養護の理念に関する記述である。（A）～（E）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 社会的養護は、保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、（A）するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことである。
- ・ 社会的養護は、「子どもの最善の利益のために」という考え方と、「社会全体で子どもを（B）」という考え方を理念とし、（C）の適切な養育を受けられない子どもを、社会の公的責任で保護養育し、子どもが心身ともに健康に育つ基本的な権利を保障する。
- ・ すべての子どもと（D）のための子育て支援施策を充実させていく中で、社会的養護の対象となる子どもにこそ、特に支援の充実が必要である。また、社会的養護と一般の子育て支援施策は、一連の（E）を持つものであり、密接な連携が必要である。

（組み合わせ）

	A	B	C	D	E
1	援助	育む	親から	家族	関係性
2	支援	育てる	保育者	家庭	連続性
3	支援	守る	養育者	保護者	関係性
4	保護	育む	保護者	家庭	連続性
5	保護	守る	親から	家族	関係性

問 10 次の文は、「社会的養護の推進に向けて（平成 29 年 3 月）」（厚生労働省）における社会的養護の原理の一部に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A すべての子どもは、適切な養育環境で、安心して自分をゆだねられる養育者によって養育されるべきであり、「あたりまえの生活」を保障していくことが重要である。
- B 発達の保障と自立支援については、未来の人生を作り出す基礎となるよう、子ども期の健全な心身の発達の保障を目指し、また、愛着関係や基本的な信頼関係の形成が重要である。さらに、自立した社会生活に必要な基礎的な力を形成していくとしている。
- C 親と共に、親を支えながら、あるいは親に代わって、子どもの発達や養育を保障することについて、市町村が行うべき家族との連携・協働を示している。
- D 継続的支援と連携アプローチ、回復をめざした支援、ライフサイクルを見通した支援についても、社会的養護の原理として明らかにしている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○